
第 24 回 教育サロン in 東海

～アクティブラーニングの失敗事例をもとに～

「学生がまなぶとき」をかんがえる

アンケート集計報告書

教育サロン事務局

2015 年 2 月

目次


1. 教育サロン実施概要.....	1
2. アンケート集計結果.....	2
2.1. 満足度について.....	3
2.2. 実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」について.....	4
2.3. 「亀倉 正彦氏の話題提供」について.....	5
2.4. 「話題提供をふまえたグループでのふりかえり・全体共有」について.....	6
2.5. 「教育サロン」で聴いてみたい、話してみたいテーマなど.....	7
2.6. その他、自由記入.....	8

1. 教育サロン in 東海 実施概要

【実施概要】

- ◆実施日：2015年2月28日（土）
- ◆実施会場：名古屋商科大学大学院 E31 教室
- ◆ご参加者 30名（ラーニングバリュー除く） うち初めてのご参加者 15名

【プログラム・話題提供について】

13:00	開会の挨拶 発起人 名城大学 人間学部教授 池田輝政氏
13:10	実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」
15:00	【話題提供者】名古屋商科大学 経営学部教授 亀倉 正彦氏
	【内容】 文部科学省「産業界ニーズに対応した教育改革・充実体制整備事業」中部圏の地域・産業界との連携を通じた教育改革の強化の一環で東海A(教育力)チームの成果物である「アクティブラーニングの失敗事例」をもとに、アクティブラーニングとの関わりや事例の調査、失敗事例を見た結果考えられる要因などのご紹介をいたします。それをもとに、「アクティブラーニングとは何か？」を皆さんと一緒に考える機会になればと願っております。肩肘の張らない、忌憚のないご意見やご指摘などもいただけますと幸いです。
16:00	話題提供をふまえてグループセッション、全体共有
	【グループセッション】 話題提供者と一緒に、グループごとに「失敗事例の意味づけ」「アクティブラーニングへの悩み」「教育改革への立ち位置」など、問題解決への小さな知恵も含めて自由にお話しいただきたいと思っております。
17:50	閉会の挨拶（18:00終了予定）

2. アンケート集計結果

アンケートについては、以下のアンケートを実施しました。

アンケートご回答者数：28名

第24回 教育サロンin東海 「学生がまなぶとき」を考える ～失敗事例から学ぶアクティブラーニング～ アンケート

本日は、ご参加ありがとうございました。今後のより良い「場創り」のため、アンケートにご協力ください。

1. 本日の満足度について教えてください。
また、その理由についてお聞かせください。
- | | | | | |
|---------|------|-----------|------------|-------------|
| とても満足した | 満足した | どちらともいえない | あまり満足しなかった | ぜんぜん満足しなかった |
|---------|------|-----------|------------|-------------|

(理由)

2. プログラム「学習スタイル、記者会見」などをご体験いただき感じたことをご自由にお書きください。

3. プログラム「亀倉正彦氏の話題提供」について、感じたことやご質問などご自由にお書きください。

4. プログラム「話題提供をうけてのグループでのふりかえり・全体共有」について、感じたことをご自由にお書きください。

5. 今後、教育サロンで聴いてみたい、話してみたいテーマはございますか？ もしありましたら、ご自由にお書きください。

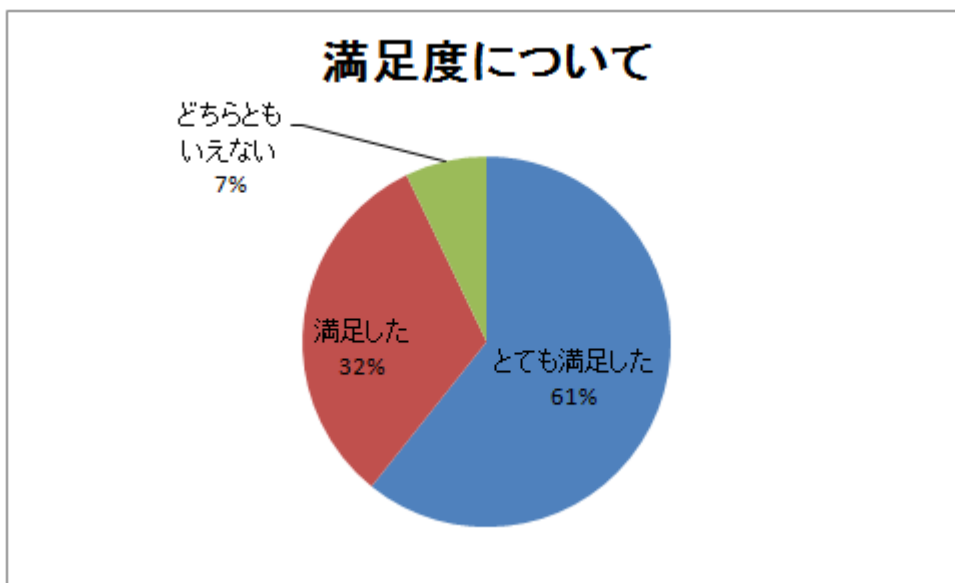
6. その他、ご自由にお書きください。

貴学名 _____ ご氏名 _____

ご協力ありがとうございました。今後ともいい「場創り」にご協力・ご支援をお願いいたします。 教育サロン事務局

フリーコメント欄では、「アクティブラーニング」⇒「AL」と表記しております。

2.1. 満足度について



回答者数	とても満足した	満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかった	ぜんぜん満足しなかった
28	17	9	2	0	0

「とても満足した」回答群
得るものがいつも以上に大きかったです。
ざっくばらんにお互いに話げできたこと。
新しい情報・生の情報をざっくばらんに頂きました。
たくさん話せてよかったです。
一つのテーマに向かって多面的な視点から議論げできたこと。
中部圏 23 大学東海 A チームの 3 年間に及ぶ研究の概要を聞くことができ、AL の理解を深めるげできた。
内容の充実。
AL について言いたいことが言えたから(笑)。賛成・反対といろいろな考え方があることを知れたので。
記者会見笑いました。本気でやればオモシロイですね。
AL の考え方がまとまった。
語り合う時間が多く、充実していました。グループの皆さんも雰囲気げ良く楽しかったです。
AL についていろいろ学び話せた。顔なじみげ増えた。自分の課題についても助言・ヒントをいただいた。
AL について、賛否・良非いろいろな考え方を知ることができた。みんな本質的なところから考えている事を再認識できた。
亀倉先生のご発言から大変多くを学ぶことができ、その後のディスカッションでも刺激を受けることが出来ました。
数週間前にネットで今回の失敗事例集を知ったばかりでした。今日はまさにその話であると知らずに参加していたため、話が聞けて大変よかったです。
様々なお話を聞けた。自分も話せた。
普段の講義では聞くことが出来ないお話や、自分の考えを深めるディスカッションをすることが出来ました。

「満足した」回答群

多くの大学の事例(生の声)を聴くことができた。

AL だけでなく、先生方の授業内容の構成検討における裏話を聞けたので、目的以上の収穫があったから

モヤモヤ感があるかも・・・程度です。

「失敗事例の共有」という視点が新鮮でした。大変勉強になりました。

自分で運営している演習活動が素敵な AL となっていることが分かって、やっぱりそうかと思いました。十分お話が出来ました。

ディスカッション機会が多く、考えを深めることができた。自分の理解が浅いことに気付き、前に進めることができた。

多様な考え方も自由に出されフレキシブルな会であった。

AL がマジックワードのようにになっている昨今、何でもかんでも AL というその風潮に違和感を感じていた。そのような思いを多くの人と共有することが出来た。

「どちらともいえない」回答群

初めて、気持ちの整理がついていないため。とても良い経験ができたと思っています。

話題提供のお話が私には難しいように思えました。話題が理解できなかったため、その後のディスカッションにもあまり参加できず、また、時間が短くてモヤモヤしました。

2.2. プログラム「あなたの学習スタイル」「記者会見」について

「とても満足した」回答群
丸く囲む形式も良いですね。互いの目を見やすかったです。
したくなるにはとても良いと思います。
一緒に行く人によって異なったものになると改めて思いました。
朝の仕事に引きつられて学習スタイルが変化しました。
前回参加した時よりもシステムが良くなったと思います。
毎回同じやり方もよいが、2～3のバリエーションがあってもよいのではないかと？
一気に打ち解けることができました(初体験)。
楽しかったです。特に今回は知らない人ばかりだったので。
学習スタイルが少し変わってきました。
お互いを知る形としていいと思う。
とても楽しく、趣味などについて質問できるのも盛り上がりよかったです。
自分が置かれた状況で、これまでにない結果が出ていておどろいた(学習スタイル)。記者会見では皆様とてもお上手でした。
今回、はじめてDoが減少し、◇に近くなった。なぜだろう。
学習スタイルの分析法は大変おもしろく、教育に関心のある教員たちをひきつけるよいツールでした。記者会見でのアイスブレイクもいろんな人とうちとけ、その後の結びつくものでした。
簡潔に自分の事を話すのは難しいといつも思います。
ぜひ、本学の授業でもやってみたいと思った。
今回で3度目の記者会見や学習スタイルの体験で毎回楽しくコミュニケーションできています。

「満足した」回答群
アイスブレイクとしては良かったと思う。
普通のアイスブレイクと違い、全員が何らかの質問をしてくれるので興味を持っていてくれると感じられる。すごくいいです。
学習スタイル、久しぶりにしました。少しバランス良くなった⇒成長したかも？
グループを作る、なじむ効果はあると思います。
前回とは違ったスタイルになっていたので驚きました。
新入学生のプログラムに応用できそう。
初体験でのときほぐし、外見だけでは知りえない(肩書)ことも知りあって、後半の議論がスムーズに運んだ。

「どちらともいえない」回答群
今朝の出来事が学習スタイルに出てきた。おもしろかった。
とても参考になりました。記者会見は普通の自己紹介よりもやりやすく、聴き手の知りたいことも分かるのでとても良いと思いました。

2.3. 「亀倉正彦氏の話題提供」について

「とても満足した」回答群
熱の入った、よくまとまった発表です。ありがとうございました。
「失敗」という keyword に、おもしろく、興味深きかせていただきました。
失敗学をふまえて、これから方法論を構築される事も期待しています。
中部圏 23 大学東海 A チームの 3 年間に及ぶ研究の概要を聞くことができ、AL の理解を深めることができました。
「失敗」を打ち出したところが良い。おかげでグループでの話し合いが活発になりました。
AL を真面目に考えたことなかったので(笑)。「こう考えるのか?」と思いました。
三次元モデル、機会があればもう一度詳しく聞きたいですね。
前提をもう少し詳しく伝えてもらおうと失敗学や事例について理解が深まったのでは?
「失敗学」そのものももう少し学んでみたいと思いました。
ご教示感謝します。とても参考・勉強になりました。
失敗事例をどのように整理されているのか興味があった。応用できるかどうかは難しいが、考え方は深く良かった。
失敗学の手法を活用して深く考察されており、刺激的でした。
Q1 で書いたとおり、興味を持っていた事だったのでおもしろく聞かせていただきました。成功例ではなく失敗例を集めた理由など知ることができ良かったです。
同じ経営学の教員として、大変参考になった。“良質の失敗”はあっていいと思う。AL の成果評価が今後の大きな課題ではないでしょうか?ありがとうございました。
自分一人の力では考えることの出来なかった部分まで考えられており、参考にさせていただきたいと思います。

「満足した」回答群
失敗学という新たな考え方を提供くださり、大変参考になりました。
研究発表のような部分、というか感想です。
研究データを基にお話頂き、失敗学に付いての知見を得ることができたのでよかったです。冊子も頂き、ありがとうございました。
本学の PBL 科目での出来事と結び付けてお話を伺っておりました。PBL に対して「物足りなく感じている」ことの原因に近付いたような気がします。
AL がこうやってまとめられていくのは素晴らしいことです。大学に発信して欲しいと思います。
ありがとうございました。とても練られていると思いました。失敗の定義が難しいと感じました。
失敗(学)から共通性を導き出し、新しい知見を知ることが出来た。
様々な問題提起があり、刺激的であった。

「どちらともいえない」回答群
私には難しかったです。

2.4. 「話題提供をふまえたグループでのふりかえり・全体共有」について

「とても満足した」回答群
大学がかかえる課題を共有できて楽しかったです。
メインの話とは異なった方に行きましたが、多々・様々なことが聞けて有意義なものでした。
好き勝手話せて楽しかったです。
各テーブル毎が、1つの方向性と1つの文化が生まれているように感じられました。
自由に話し合いを進めることができてよかった。
5～6名のグループの野んずうが適切。深い話になった。
Do型人間なので「とにかくやる」しかなかったので、いい勉強になりました。
深く話せてよかったです。
様々な立場の意見は参考になった
いろんな話題が出ました。仕事にも活かせる気付きがあり、今後も頑張ろうと思います。
自分ばかり聞きたいこと、おしゃべりすぎました。ごめんなさい。まだもっと聞きたいと思いました。
皆それぞれの経験を踏まえて、ALの利点も弱点もしっかり把握した上で考えていることがわかり、楽しかった。
よいまなびと気づきをあたえられました。
皆さんの様々な経験談を聞けるのでありがたく思います。
他グループの議論は参考になった。同じグループ内でもいくつかの気づきをもらえた。
みんなでALについてもう一度話し合い、理解を深められました。

「満足した」回答群
この時間は重要だが時間が短いと思う。もっと長くても良い(半日くらい)
Q1と同じ内容です。
やっぱりモヤモヤ感はきれいにならず、むしろ大きくなって。これもまた、ディスカッションのおもしろさだと思います。
アクティブラーニング、失敗学について学びを深めることができました。
話題が多岐にわたり、大変勉強になりました。
楽しかったです。
纏めるのが難しいと感じました。ホワイトボードなどがあって議論できれば良いかな、と思いました。
自由に意見を出し、共通理解が深まった。
他大学の状況等が把握でき有意義であった。

「どちらともいえない」回答群
ALは人によって考え方・解釈が異なる⇒実践と想いは乖離してはいけないことがわかった。
時間が短かったです。

2.5. 今後、教育サロンで聴いてみたい、話してみたいテーマなどはございますか？

フリーコメント
単位の実質化、学修時間の確保が重要と思っておりますが、実際にはどの程度されているのか、どんな工夫があるのか、AL との関連も強いので。
授業評価法などについて
教員(授業)評価
キャリア教育を本音で語る
職員の在り方について、教員の目線から話を聞いてみたい。

2.6. その他、自由にご記入ください

フリーコメント
Q4 に関係するが、開始を午前中からにして、午後に Q4 の時間を設定すればよいと思う。
本学に戻って伝えたいと思います。
懇親会もがんばります。
道後温泉は魅力的な誘い文句ですなあ。
ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いいたします。
ありがとうございました。事務局の方にも感謝申し上げます。
また、興味のあるテーマだったら参加したいです。よろしくお願いいたします。
ありがとうございました。